

2017 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [多治見市立共栄小学校] 担当教諭名 [安藤薫・上條和佳子] (6年 1・2組80名)

相手国・地域 [ケニア]

海外学校名 [Wamumu Rehabilitation School] 担当教諭名 [安藤洋之(JICA)]

■実施教科・時間数について教えてください。

アートマイルに関連した 実施教科・時間数	教科	単元名	時間数
	総合的な学習	世界の人々と手をつなごう(国際理解)	22
	英語	英語で自己紹介、日本文化紹介をしよう	6

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	日本とケニアの文化・自然
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	日本とケニアの良さを伝え合おう。調べ学習やスカイプ会議で交流し合っただけで知った、日本とケニアの自然やお互いの文化の素晴らしさを絵に表しました。知らない国・人と「肯定的に出会う」「お互いを認め合う」ことの大切さを感じ取ってもらえる絵になったと思います。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
目的をもって調べ学習やスカイプ会議ができたこと。遠く離れたケニアを身近に感じる事ができたこと。日本とは異なる自然や文化の国で生活する子どもたちに親しみがもてたこと。アートマイルの壁画を2つの国で描き切り、達成感をもてたこと。	経費の問題。今回児童が80人だったので、本当は2枚アートマイル壁画ができるとよかったと思う。そうすると、2か国と交流でき、その比較もできて学習が深まると思うが、それだけの経費の出所がないことが問題です。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
やはり、ケニアを身近に感じる児童が増えたことです。スカイプ会議でお互いに笑顔で手を振り会話したことや、一緒にダンスをしたことは印象深く、遠く離れたケニアの子に親しみを感じたようでした。また、ケニアの自然や文化を知ることを通して、他の国についても知りたいといった世界への興味も高まりました。	ケニアとのスカイプ会議で、子どもたちが楽しそうにケニアの子と関わる様子から、知らないものに肯定的に出会うことができる子どもたちの良さに、改めて気づかされました。また、完成したアートマイルを嬉しそうに細部まで鑑賞する姿に、改めてよい活動ができて良かったと思いました。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	7月 9月	参観日でアートマイル学習の進め方やケニアと交流することを紹介 自己紹介の計画・練習 1回目のスカイプ会議	これからどんな学習を進めていくのか楽しみにしている様子だった。 スカイプ会議で、自分達の活動にケニアの子が反応してくれることを喜ぶ。	総合4 英語2
共有 テーマ学習	9月	ケニアについて調べたことを新聞にまとめる 日本の自然や文化について紹介する計画・練習 2回目のスカイプ会議	ケニアについて、少しずつ興味をもち、調べたことを丁寧にまとめた。 日本の自然や文化について、ケニアの子に紹介したいことを考え、1回目よりスカイプ会議も盛り上がる。	総合8 英語2
融合 想いを形に ・メッセージ ・壁画デザイン	11月	お互いの国の良さを絵に表すことにしてデザインを決める プレゼント(紙飛行機や折り紙など)やクリスマスカードを作って送る	何を描きたいか、全員にアンケートをとり、実行委員が集約した。高価なプレゼントは無しとし、身近にあるもので工夫してプレゼントやカードを作った。	総合4
創造 壁画制作	12月	デザインに沿って壁画の下書き、着色をする サインをして発送	大まかなデザインは実行委員が中心となって計画。80人真剣に、ケニアの子の反応を楽しみながら絵を描いた。	総合3
評価 振り返り 自己評価	3月	プレゼントやカードに対するケニアの子の反応を知る 届いた絵を鑑賞する 歌とダンスの練習 3回目のスカイプ会議(接続できず)	送った紙飛行機で遊んだり、カードを読んだりする姿の動画に自分たちも笑顔になった。壁画の絵は細部まで興味深く見ていた。最後にケニアの歌とダンスを楽しんだ。	総合3 英語2

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

学習目標・つきたい力	評価	先生が手応えを感じた場面・理由
自文化を理解する力	4	日本の自然や文化について調べ、写真や道具、動作等でケニアの子に伝えようとしている姿。
異文化を理解する力	4	スカイプ会議でケニアの子と自然に交流する姿。違いを驚きつつも否定することのない様子。
情報活用能力 (収集・まとめ・発信)	4	あまりなじみのなかったケニアについて調べたことを新聞に丁寧にまとめたこと。自主的に調べ学習を進める姿。
コミュニケーション力 (双方向・共感・英語)	5	スカイプ会議で、国や距離を感じさせずに生き生きと交流する姿。英語、スワヒリ語とかを気にせず、とにかく笑顔で交流を楽しむ姿。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	3	ケニア以外の国にも興味をもつ子が増えたとは思いますが、「みんな違ってみんないい」というやや浅い理解で終わってしまった部分がある。
主体的に考え行動する力	4	活動を通して、どうしたらケニアの子により伝わるかなど、一人一人が考えて工夫する姿が見られた。
他者と協働する力 (学級内・海外の相手)	5	ケニアの子と協働で壁画ができたことはもちろん、学級・学年で協力し合ってスカイプ会議ができたこと。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	4	お互いの自然や文化を紹介し合ったことをシンメトリーのように壁画に表現することができた。どの子も臆することなく活動した。
評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価)	4	活動ごとに自己評価プリントで振り返りをした。最後の壁画完成には大きな感動をもって活動を終えることができた。